

SC販売統計調査報告 2017年8月

既存SC前年同月比 : +1.9%

飲食・サービスに加えて秋物に動きがあり、6ヶ月連続で前年を上回る

<全体概況>

- ・8月度の既存SCの売上高は、総合で前年同月比+1.9%となり6ヶ月連続で前年を上回った。テナントは同+2.6%(6ヶ月連続プラス)。一方でキーテナントは同▲0.5%(9ヶ月連続でマイナス)となった。
- ・立地別(表1)の総合では、中心地域が同+1.8%、周辺地域が同+2.0%となった。大都市中心地域は前月5ヶ月ぶりに前年同月を下回ったが、8月度は同+2.9%(前月は同▲0.4%)と回復した。
- ・地域別(表2)では、全9地域のうち、北陸(同▲0.8%)と四国(同▲3.3%)を除く7地域で前年を上回った。
- ・都市規模別(表3)では、政令指定都市の総合が同+2.3%、その他の地域も同+1.7%となり両者ともに前年を上回った。
- ・業種毎の販売動向をみると、テナントでは飲食、サービスが好調との回答が多くみられた。一方で不振業種としては先月と比較して減少がみられたものの婦人衣料をあげたSCが最も多かった。キーテナントは、食物販(生鮮食品・加工食品)が好調、衣料品が不振との回答が多くみられた。

<トピックス>

北日本・東日本では月を通じて曇りや雨の日が多く、気温も平年を下回った。そのため、夏物の商品に苦戦したとの声が聞かれたが、一方で秋物の商品が早目に動き始めたとの声も聞かれた。前年8月は4個の台風が上陸する荒れた天候となったが、今年は月前半に1個上陸と平年並みだった。夏休みやお盆休みの外出先として雨の日でも利用しやすいショッピングセンターにはプラスに作用したと考えられる。

※サンプル数:502SC (回収率50.2%)

※本調査は、2015年12月末現在の全SC3,195SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※当協会のSC販売統計調査報告は、政府統計に合わせて消費税を含めて算出しております。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント	
総合	502	1.9	2.6	▲0.5	
地中 域心	大都市	64	2.9	2.4	8.7
	中都市	72	▲0.3	▲0.1	▲1.5
	小計	136	1.8	1.6	3.4
周辺地域	366	2.0	3.1	▲1.1	

(注)

■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市

中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む162都市)で、商業機能が集積した中心市街地

周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
立地(SC数)											
総合	502	1.9	3.1	3.8	3.0	1.1	▲0.8	0.7	0.8	▲3.3	1.7
中心地域	136	1.8	2.9	9.6	2.8	▲0.8	▲0.8	▲1.1	▲0.4	▲11.4	2.8
周辺地域	366	2.0	3.5	1.3	3.1	1.7	▲0.8	1.4	1.2	▲1.8	1.0
(SC数)	502	16	31	197	61	33	87	30	13	34	

(注) ■地域

北海道:北海道

東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県

中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	502	1.9	2.6	▲ 0.5	
政 令 指 定 都 市	札幌市	10	2.1	2.1	-
	仙台市	5	9.5	9.5	-
	千葉市	5	1.4	1.4	-
	東京区部	54	3.8	3.4	5.6
	横浜市	16	3.4	3.5	2.7
	川崎市	7	0.1	0.0	1.2
	名古屋市	12	▲ 1.6	▲ 2.2	0.8
	京都市	7	▲ 1.1	0.3	▲ 3.2
	大阪市	19	▲ 0.6	▲ 0.6	0.1
	神戸市	17	2.9	3.6	▲ 1.3
	広島市	9	0.2	0.2	2.4
	北九州市	2	3.7	3.8	3.0
	福岡市	7	5.2	5.2	5.3
	小 計	170	2.3	2.3	2.8
そ の 他 の 地 域	北海道	6	6.9	9.0	▲ 4.7
	東北	26	1.7	3.7	▲ 2.5
	関東	115	2.8	3.2	1.4
	中部	49	2.0	3.3	▲ 3.2
	北陸	33	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 1.4
	近畿	44	1.1	2.8	▲ 3.3
	中国	21	0.9	3.1	▲ 3.2
	四国	13	▲ 3.3	▲ 2.1	▲ 4.6
	九州・沖縄	25	0.3	1.7	▲ 3.4
小 計	332	1.7	2.8	▲ 1.7	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、

堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が、2012年4月は熊本市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、堺市は近畿地域、岡山市は中国地域、熊本市は九州・沖縄地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別
売上高伸長率

キー業態	SC数	%	
総 合	502	1.9	
核なし	282	3.0	
1 核	Dpt	11	3.5
	GMS	121	▲ 0.6
	SM	35	2.5
	SS	2	1.3
	HC	1	0.5
	専門店	3	3.7
	生協	5	0.5
	Dgs	2	▲ 5.3
	小 計	180	0.4
	2 核	Dpt+SM	3
GMS+SM		2	▲ 1.1
GMS+HC		1	1.5
GMS+専門店		5	0.8
SM+SS		3	0.7
SM+HC		1	5.4
SM+DS		1	▲ 1.2
SM+専門店		9	3.5
生協+HC		1	▲ 4.2
その他		7	4.0
小 計	33	1.8	
3核 以上	Dpt+GMS+HC	2	0.0
	その他	5	0.1
小 計	7	0.1	

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比			
SC総合	総合	502	514,604,693	1.9	9,946,205	0.8	1,025,109	171	19,813
	中心地域	136	152,259,803	1.8	1,920,780	▲ 0.4	1,119,557	262	14,123
	大都市	64	99,970,425	2.9	1,054,725	▲ 0.2	1,562,038	313	16,480
	中都市	72	52,289,378	▲ 0.3	866,056	▲ 0.8	726,241	199	12,029
	周辺地域	366	362,344,890	2.0	8,025,425	1.1	990,013	149	21,927
テナント	総合	502	410,539,122	2.6	7,288,626	1.1	817,807	186	14,519
	中心地域	136	137,911,491	1.6	1,699,628	▲ 0.5	1,014,055	268	12,497
	大都市	64	92,756,933	2.4	993,882	▲ 0.2	1,449,327	308	15,529
	中都市	72	45,154,558	▲ 0.1	705,747	▲ 1.0	627,147	211	9,802
	周辺地域	366	272,627,631	3.1	5,588,998	1.6	744,884	161	15,270
キーテナント	総合	220	104,065,571	▲ 0.5	2,657,579	0.0	473,025	129	12,080
	中心地域	20	14,348,312	3.4	221,152	0.0	717,416	214	11,058
	大都市	4	7,213,492	8.7	60,843	0.0	1,803,373	391	15,211
	中都市	16	7,134,820	▲ 1.5	160,309	0.0	445,926	147	10,019
	周辺地域	200	89,717,259	▲ 1.1	2,436,427	▲ 0.1	448,586	122	12,182

注:売上高(総合)は、調査対象502SCの合計値です。

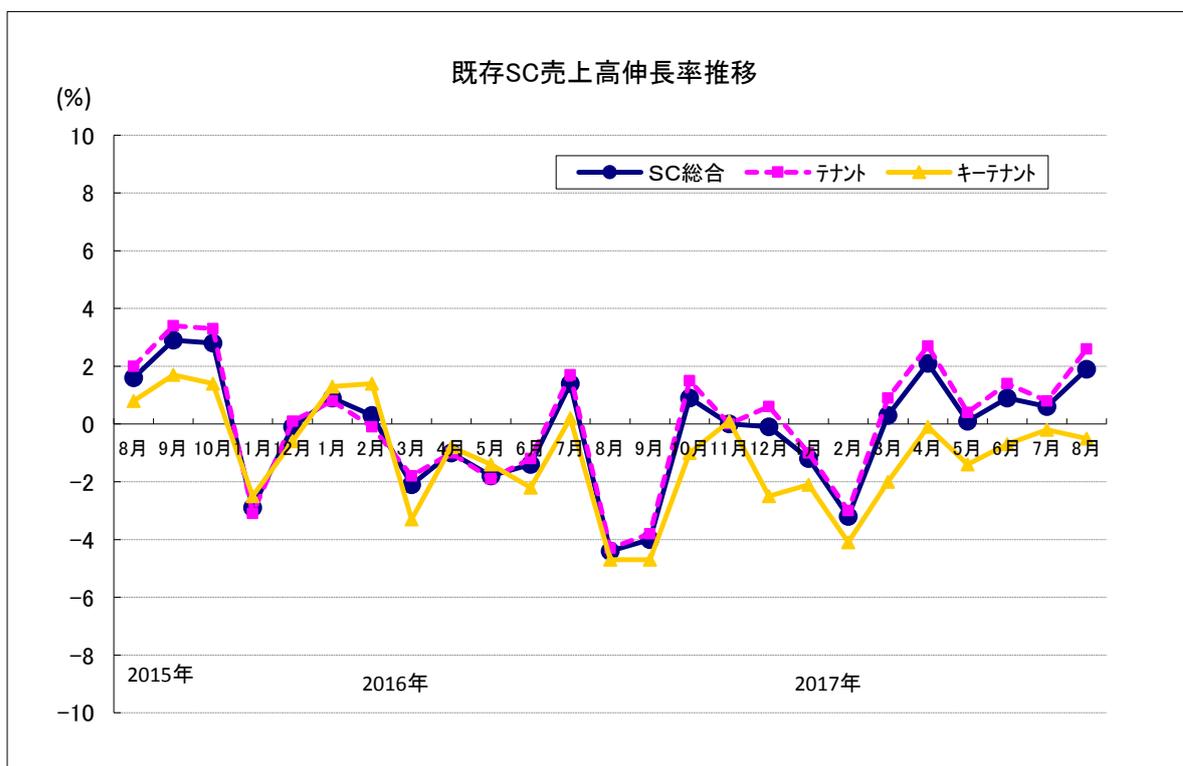


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4	
2015上半期	(1～6月)	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 2.2	▲ 1.9	0.0
2015下半期	(7～12月)	0.9	1.1	0.4	1.4	1.4
2016上半期	(1～6月)	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 2.8	0.4
2016下半期	(7～12月)	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 1.1
2017上半期	(1～6月)	▲ 0.2	0.2	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 1.5
2015四半期別	(1～3月)	▲ 4.3	▲ 3.2	▲ 7.1	▲ 8.6	▲ 4.0
	(4～6月)	2.2	1.8	3.3	6.4	4.1
	(7～9月)	2.0	2.1	1.5	2.7	2.3
	(10～12月)	▲ 0.1	0.0	▲ 0.5	0.3	0.5
2016四半期別	(1～3月)	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 1.6	1.7
	(4～6月)	▲ 1.6	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 0.8
	(7～9月)	▲ 2.4	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 3.4	▲ 2.0
	(10～12月)	0.3	0.6	▲ 1.1	▲ 2.5	▲ 0.3
2017四半期別	(1～3月)	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.7	▲ 1.2	▲ 2.2
	(4～6月)	1.0	1.4	▲ 0.6	0.7	▲ 0.8
2016 月別	1月	0.9	0.8	1.3	▲ 1.9	2.3
	2月	0.3	▲ 0.1	1.4	0.2	3.4
	3月	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 3.3	▲ 2.9	▲ 0.3
	4月	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 3.8	▲ 0.7
	5月	▲ 1.8	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 5.1	▲ 1.3
	6月	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 3.5	▲ 0.5
	7月	1.4	1.7	0.2	▲ 0.1	0.2
	8月	▲ 4.4	▲ 4.3	▲ 4.7	▲ 6.0	▲ 2.9
	9月	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 4.7	▲ 5.0	▲ 3.2
	10月	0.9	1.5	▲ 1.0	▲ 3.9	0.6
	11月	0.0	0.0	0.1	▲ 2.4	0.8
	12月	▲ 0.1	0.6	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 2.0
2017 月別	1月	▲ 1.2	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 1.2	▲ 1.6
	2月	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 3.3
	3月	0.3	0.9	▲ 2.0	▲ 0.9	▲ 1.8
	4月	2.1	2.7	▲ 0.1	0.7	0.6
	5月	0.1	0.4	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8
	6月	0.9	1.4	▲ 0.7	1.4	▲ 1.2
	7月	0.6	0.8	▲ 0.2	▲ 1.4	0.0
	8月	1.9	2.6	▲ 0.5	2.0	▲ 0.5
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協会	